

明日をもっとおいしく

meiji



株主のみなさまへ

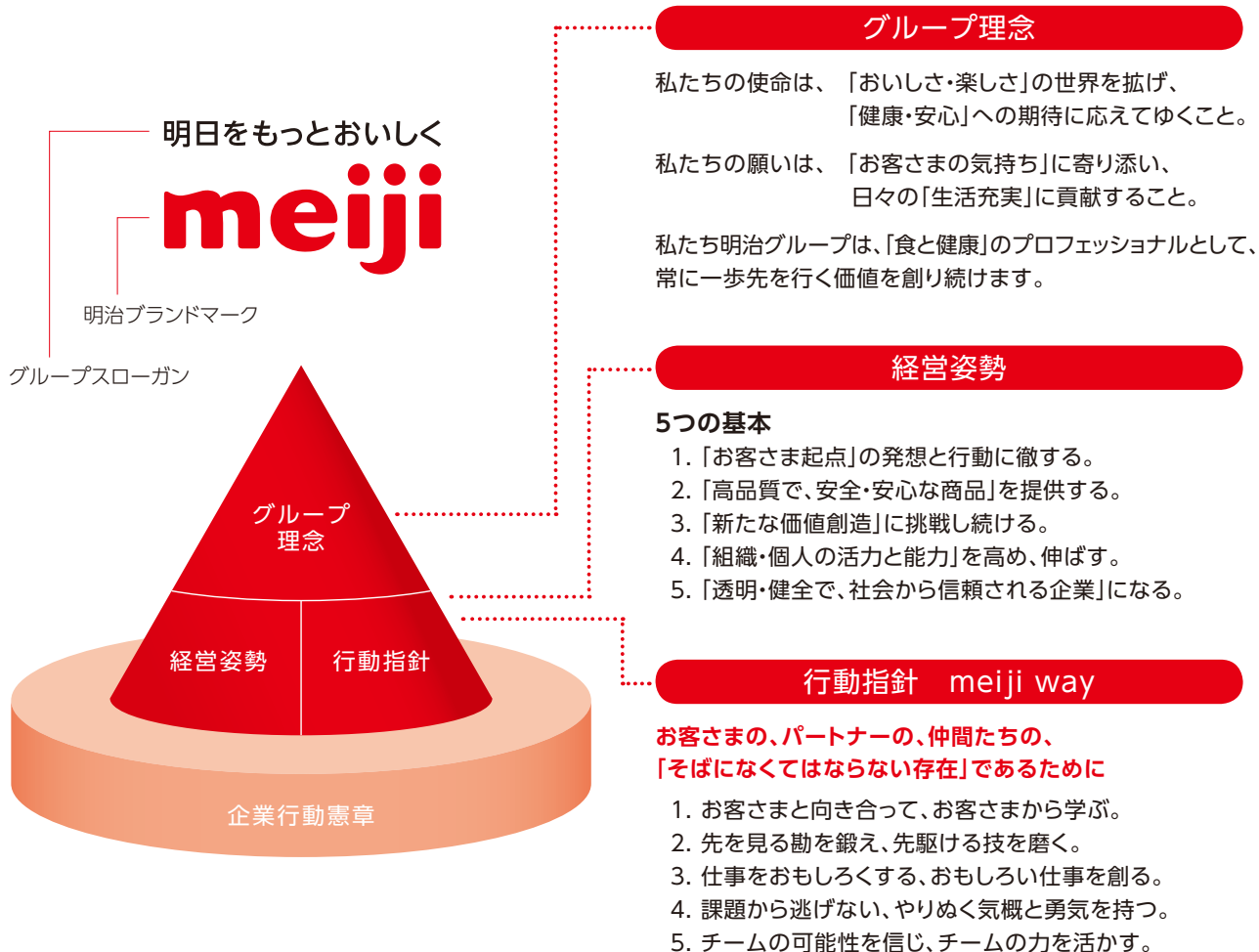
## 第4期 中間報告書

平成24年4月1日～平成24年9月30日

明治ホールディングス株式会社

# 明治グループ理念体系

明治グループ理念体系は、明治グループで共有し、お客さま、株主さまなどのステークホルダーに向け、「食と健康」に関わる事業を通して、企業価値の継続的な向上を図っていく明治グループの姿勢を表現しています。



## 食品から医薬品まで、 幅広い分野で貢献する ユニークな企業グループを目指して

株主のみなさまには、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は、平成24年9月30日をもちまして、第4期事業年度（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の中間期（平成24年4月から9月期）を終了いたしましたので、ここに事業の概況等につきましてご報告申し上げます。

当中間期のわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などが見られるものの、欧州債務危機や中国経済の成長率鈍化、長引く円高やデフレの影響などにより、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

こうした中、当社グループは2012-2014グループ中期経営計画「TAKE OFF 14」に基づき、各事業とも積極的に取組みを進めております。食品セグメントにおいては、



明治ホールディングス株式会社  
代表取締役会長 佐藤 尚忠



明治ホールディングス株式会社  
代表取締役社長 浅野 茂太郎

好調な乳製品事業が全体を牽引し、また医薬品セグメントでは薬価改定の影響を補うべく、主に国内の医療用医薬品の学術普及活動強化に努めております。

この結果、当中間期における連結売上高は5,612億49百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益は100億49百万円（同35.5%増）、経常利益は117億95百万円（同36.1%増）、中間純利益は特別利益の増加などにより52億65百万円（同123.2%増）となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては、1株につき金40円と決定させていただきましたので、なにとぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 食品セグメント

(株式会社 明治)

乳製品事業

菓子事業

健康栄養事業

売上高

5,039億円

(前年同期比:  
2.7%増)

営業利益

65億円

(前年同期比:  
147.0%増)

当セグメントでは、乳製品事業が市乳を中心に好調に推移したことにより、健康栄養事業などの売上減を補い、連結売上高は5,039億16百万円(前年同期比2.7%増)となり、乳製品事業の増収による売上利益増およびプロダクトミックスの改善により、営業利益は65億78百万円(同147.0%増)となりました。

主な事業別概況は次のとおりです。

● **乳製品事業**(【市乳】牛乳類、ヨーグルト、飲料等 【乳食品】チーズ、バター、業務用乳製品等)  
市乳は、昨年度下期以降のシェア回復に加えヨーグルトの売上増により、また乳食品は、主力商品群の順調な売上伸長などにより、全体では前年同期を上回りました。

【市乳】

健康志向の高まりの中、積極的な販促活動によって機能性ヨーグルト「明治ヨーグルト R-1」「明治プロビオヨーグルト LG21」や「明治ブルガリアヨーグルト」など、ヨーグルトの売上が拡大を続け、前年同期を大幅に上回りました。牛乳類は、「明治おいしい牛乳」の店頭マーケティングやブランド10周年消費者キャンペーンなどの施策が奏功し、前年同期を上回りました。

【乳食品】

市販用ナチュラルチーズは、主力の「明治北海道十勝カマンベールチーズ」や「明治ボーンチーズ」が順調に売上を伸ばし、前年同期を上回りました。市販用マーガリン類は、「明治ヘルシーソフト オフスタイル」シリーズが引き続き好調に推移し、また、本年3月発売の「明治ふんわりムースソフト クリーミースム〜ス」なども貢献し、前年同期を上回りました。業務用生クリームは、顧客の新規開拓や高品質化による売上増などにより、前年同期を上回りました。

● **菓子事業**(【菓子】チョコレート、ガム、キャンデー、輸入菓子等 【デザート】アイスクリーム、スイーツ等【フードクリエイト】業務用(製菓・食材)等)

菓子事業は、菓子は前年同期に届かなかったものの、デザート、フードクリエイトが順調に売上を伸ばし、全体では前年同期を上回りました。

【菓子】

チョコレートは、発売50周年を迎えた「アーモンドチョコ」などのナッツチョコレート群は順調に推移しましたが、長引く残暑の影響により全体として前年同期を下回りました。ガムは市場も低迷する中、前年同期を下回りましたが、グミは好調に推移しました。

【デザート】

アイスクリームは、主力の「明治エッセルスーパーカップ」が前年同期を大幅に上回りました。加えて、本年3月発売の「明治クリスピーズ チョコ&バニラ」も順調に推移しました。

【フードクリエイト】

フードクリエイトは、顧客ニーズにきめ細かく応える商材提供を強化し主力商品群が伸長し、製菓・食材とも前年同期を上回りました。

● **健康栄養事業**(【健康】スポーツ栄養、健康機能、食品、OTC等 【栄養】粉ミルク、流動食、病態食等)  
健康は市場の低迷や競争激化を受け前年同期を下回り、栄養は前年同期並みの水準となった結果、全体では前年同期を下回りました。

【健康】

スポーツプロテイン「ザバス」は、ランナー、ジュニアへの普及、販促によるユーザーの増加などにより順調に拡大し前年同期を上回りましたが、基礎美容食品の「アミノコラーゲン」は前年同期を下回り、健康全体で前年同期を下回りました。

【栄養】

流動食は、新規採用先の増加や新商品の寄与により、前年同期を上回りました。粉ミルクは前年同期を下回りました。本年9月に「明治ほほえみ」「明治ステップ」をより母乳に近い栄養成分へとリニューアルし、積極的な普及活動を行っております。



明治おいしい牛乳

明治ブルガリア  
ヨーグルトLB81



明治プロビオ  
ヨーグルトLG21

明治ヨーグルト  
R-1ドリンクタイプ



明治北海道  
十勝スマートチーズ



明治エッセル  
スーパーカップ 超バニラ

カール チーズあじ



ミルクチョコレート

明治北海道十勝  
カマンベールチーズ



アーモンドチョコ

スーパーヴァーム



果汁グミぶどう



キシリッシュガム  
ディープミント

アミノコラーゲン



明治ほほえみ  
らくらくキューブ



ザバス  
ホエイプロテイン  
100

明治メイバランスMini



## 医薬品セグメント

(Meiji Seika ファルマ株式会社)

医療用医薬品事業

生物産業事業(農薬・動物薬)

売上高

584億円

(前年同期比:  
0.2%減)

営業利益

33億円

(前年同期比:  
23.4%減)

当セグメントでは、国内の医療用医薬品については、本年4月の薬価改定の厳しい影響がある中、抗うつ薬、ジェネリック医薬品の伸長などにより、前年同期を上回りました。一方、海外の医療用医薬品、生物産業事業は苦戦となった結果、連結売上高は584億47百万円(前年同期比0.2%減)となりました。営業利益は、薬価改定の影響により33億8百万円(同23.4%減)となりました。

主な事業別概況は次のとおりです。

### ●医療用医薬品事業

抗菌薬では、「メイアクト」は薬価改定の影響などにより前年同期を下回りましたが、「オラパネム」は前年同期を上回りました。抗うつ薬では、「デプロメール」は前年同期を下回りましたが、「リフレックス」は積極的な学術普及活動などにより前年同期を上回りました。

ジェネリック医薬品では、カルシウム拮抗薬「アムロジピン錠 明治」は前年同期を上回りました。加えて、昨年11月に発売したアルツハイマー型認知症治療剤「ドネペジル 明治」や、本年6月に発売した抗うつ薬「パロキセチン 明治」も売上にとりこみました。

### ●生物産業事業(農薬・動物薬)

農薬は、いもち病防除剤「オリゼメート」および昨年4月発売の茎葉処理除草剤「ザクサ液剤」の売上減が響き、前年同期を下回りました。動物薬は、コンパニオンアニマル用薬、水産用薬は前年同期を上回りましたが、家畜用薬が前年同期を下回り、全体として前年同期を下回りました。



リフレックス錠



デプロメール錠



ザクサ液剤



アムロジピン錠「明治」



オリゼメート 粒剤



メイアクトMS錠・  
メイアクトMS小児用細粒



点滴静注用バンコマイシン「MEEK」



オラパネム  
小児用細粒



パナメクチン  
チュアブルP

# 新製品のご紹介



## 明治ブルガリアヨーグルトLB81 なめらかクリーミープレーン生乳100

本場ブルガリアのLB81乳酸菌と当社独自の技術ナチュラルテイスト製法を用いた生乳だけを使用し、生乳本来の自然なイメージと、しっかりしたカードでクリーミーな風味となめらかな食感が味わえる明治ブルガリアブランドの生乳100%プレーンヨーグルトです。



## 明治ブルガリアヨーグルトLB81 そのままおいしい脂肪0プレーン

本場ブルガリアのLB81乳酸菌を使用し、当社独自のまるやか丹念発酵と乳糖分解技術により脂肪分0でありながら、ヨーグルト本来の爽やかさととまるやかな風味を兼ね備えた、余分なものを摂らずにそのまま食べられる明治ブルガリアブランドのプレーンヨーグルトです。



## 明治プリンカスタード

ミルクと卵をベストなバランスで配合し、まるやかな風味を楽しむことができるプリンベースに、ほろ苦く香ばしい風味のキャラメルソースを組み合わせた明治プリンカスタードです。  
※他にチョコレート、ミルクフレーバーがあります。



## ホロホローネショコラ

濃厚で口どけのよいチョコレートを、ホロホロと繊細に崩れる薄皮クッキーにぎゅっと包む新技術を使用し、「ホロッと崩れて、チョコがとろけだす」新感覚のぜいたくな洋菓子ショコラです。



## 温かしょうがのど飴袋

じんわりほかほか、しょうがの味わいのするのど飴です。味は3種のアソートで、レモンしょうが味・ゆずしょうが味・はちみつしょうが味。拡大を続けるしょうが飴市場で昨年の大好評に応えて今年も発売します。



## メルティーキッス クリーミーショコラ

今年の冬で発売20周年となる冬期限定のメルティーキッス。今年も人気のクリーミーショコラは、カカオの風味をより上質に仕上げ、芳醇なミルクのコクと香り豊かなカカオが織りなす「雪のような口どけ」が楽しめます。



## meiji THE PREMIUM Gran グランミルク

素材や製法など5つのこだわりを持って、ミルクのおいしさを極めました。ミルクのおいしさがギュッとつまった「豊かなコクと自然な甘み」は、コクがあるのにスッキリした、深くてやさしい味わい。思わず心が落ち着く、そんな「こっくり濃厚プレミアムアイス」です。



## こだわりピッツェリア マルゲリータ 1枚入 こだわりピッツェリア ピカンテ 1枚入

独自に開発した「もっちり生地製法」により、専門店でしか味わえないあのピッツァ生地の食感を再現しました。ピッツァ専門店で味わう本格的なおいしさをお気軽にお召し上がりいただけます。



## パーフェクトプラス 素材ぎっしり シリズ

「パーフェクトプラス 素材ぎっしり」は、大豆・玄米・オーツ麦・全粒小麦・あわなどで作ったパフやフレークに、フルーツをプラスして風味豊かに仕上げた、素材本来の自然なおいしさを大切にした栄養調整食品です。



## ザバス ジュニアカルシウムアップ グレープフルーツ

スポーツジュニアの体づくりにうれしいカルシウムを配合しました。さらに成長期のジュニアにとって食事・間食だけでは不足しがちな鉄、ビタミンB1、B2、Cなどの栄養素を理想的に補えるよう設計しています。



## 明治アーモンドココア

発売50周年を記念し「明治アーモンドチョコレート」ブランドのココアを期間限定で展開します。クラッシュアーモンド入りで、アーモンドの香ばしい風味とカカオの深い味わいが楽しみたいいただけます。



## オーキシス®9μg ターペイヘイラー®28吸入

慢性閉塞性肺疾患(COPD)吸入治療薬「オーキシス®9μgターペイヘイラー®28吸入」を発売しました。COPDはタバコ煙などに含まれる有害なガスを習慣的に長期間吸入することで起こる肺の慢性的な炎症性疾患です。

# 連結財務諸表

## 中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	前期末 (平成24年3月31日現在)	当中間期 (平成24年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,662	14,209
受取手形及び売掛金	168,699	175,025
商品及び製品	77,292	82,379
仕掛品	2,240	2,797
原材料及び貯蔵品	32,480	35,323
その他	27,438	30,411
貸倒引当金	△282	△262
流動資産合計	322,531	339,884
固定資産		
有形固定資産	311,184	309,667
無形固定資産	8,040	7,646
投資その他の資産	108,228	108,316
固定資産合計	427,453	425,630
資産合計	749,985	765,515
<b>負債の部</b>		
流動負債	352,500	325,621
固定負債	98,994	138,804
負債合計	451,494	464,426
<b>純資産の部</b>		
株主資本	294,078	296,579
その他の包括利益累計額	△2,488	△2,395
少数株主持分	6,901	6,905
純資産合計	298,491	301,089
負債純資産合計	749,985	765,515

## 中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前中間期 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当中間期 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	548,121	561,249
売上原価	369,120	373,744
売上総利益	179,000	187,504
販売費及び一般管理費	171,586	177,455
営業利益	7,413	10,049
営業外収益	4,163	4,416
営業外費用	2,909	2,669
経常利益	8,668	11,795
特別利益	306	1,622
特別損失	2,754	2,608
税金等調整前中間純利益	6,220	10,809
法人税等	3,724	5,471
少数株主利益	136	72
中間純利益	2,359	5,265

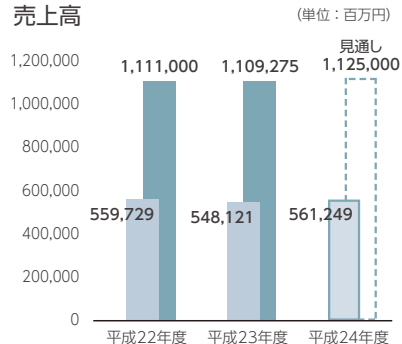
## 中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

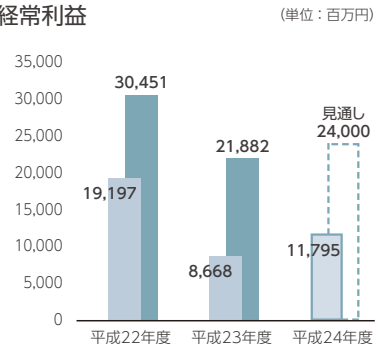
	前中間期 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当中間期 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,269	19,889
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,754	△14,643
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,590	△5,938
現金及び現金同等物に係る換算差額	70	15
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△11,823	△676
現金及び現金同等物の期首残高	21,741	14,363
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,281	—
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	158
現金及び現金同等物の中間期末残高	11,200	13,846



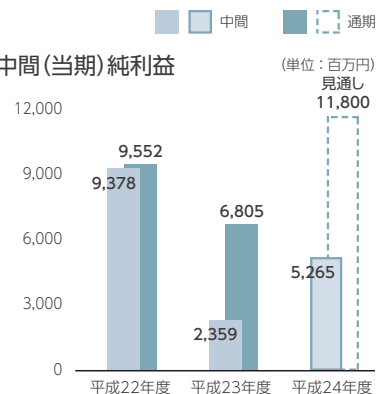
## 売上高



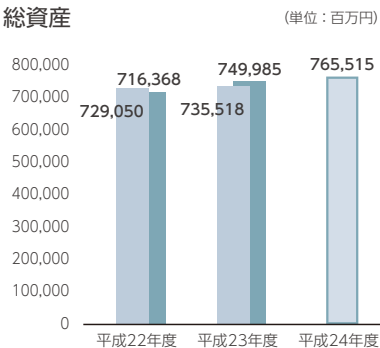
## 経常利益



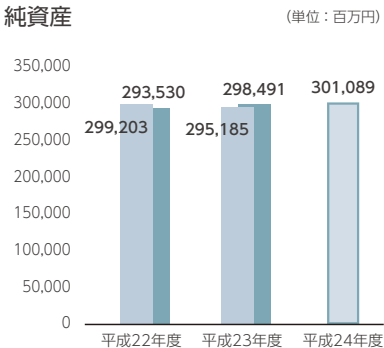
## 中間(当期)純利益



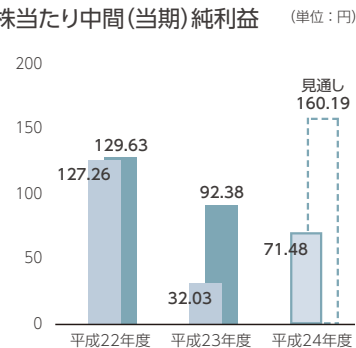
## 総資産



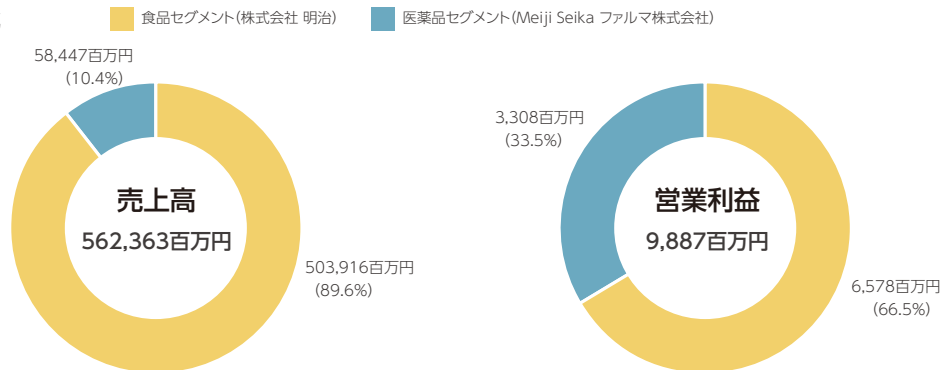
## 純資産



## 1株当たり中間(当期)純利益



## セグメント別構成比



※セグメント別の売上高および営業利益は連結消去等調整前の金額を用いています。

Q1

「明治グループ2020ビジョン」の実現に向けて、当期からスタートした新中期経営計画「TAKE OFF 14」の位置付けについて教えてください。

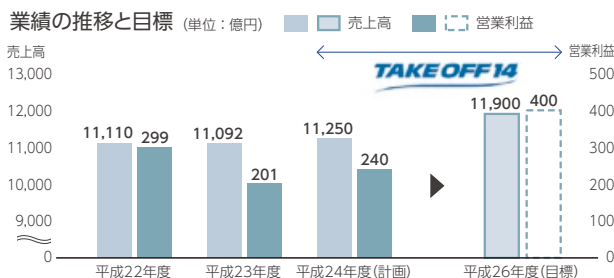
A1

「TAKE OFF 14」では「収益性向上と飛躍に向けた戦略投資」を重点テーマとし、次の中期経営計画での成長加速を可能とする筋肉質な企業体質へと進化させていきます。

「TAKE OFF 14」は、「明治グループ2020ビジョン」期間中に実行される3つの3カ年中期経営計画の第1弾で、「収益性向上」に一層こだわりを持って取り組む一方、「飛躍への戦略投資」を進めることを重点テーマとしています。基本方針である「既存事業の強化・拡大」「成長事業の育成」「収益性の向上」に基づき、最終年度には売上高1兆1,900億円、営業利益400億円の達成を目指します。

成長戦略としては、戦略投資によりグループの力強さを増す一方、収益力を上げて引き締まった体質へと進化させていきます。さらに、資産の効率化や財務健全性の維持という財務戦略と併せて経営を推進していきます。そして、まずは「TAKE OFF 14」を達成し、次期以降の中期経営計画で成長を加速させ、そしてグローバル企業へと進展する

ことで、「2020ビジョン」の実現というゴールに到達するシナリオを描いています。



\* 平成23年度より不動産賃貸の収益費用の表示方法を変更しました。平成22年度の数値はこれを遡及適用した数値で表示しています。

Q2

「TAKE OFF 14」の重点テーマの一つである「収益性向上」を実現するための成長戦略や具体的な施策について教えてください。

A2

「強いブランドで構成されたポートフォリオ」をより強化するとともに、各事業においてローコストオペレーションやコスト改革にも着実に取り組みます。

乳製品、菓子、健康栄養、医薬品など、各分野でトップクラスのブランドや製品を、「強いものをより強く」という考えで、既存事業の中でも成長事業・優位事業をさらに強化・拡大し、事業のコアの強みを増大させます。

食品セグメントにおいては、長年培ってきた知見やノウハウ、各種技術などの無形の経営資源を生かして魅力のある品ぞろえにし、販路の拡大や効果的な営業戦略と併せて圧倒的優位を確保していきます。また、各事業とも一層のコスト改革に取り組みます。

医薬品セグメントは、「スペシャリティ&ジェネリック・

ファルマ」として得意領域を強化します。特に、感染症領域、中枢神経系領域での存在感を高め、ジェネリック医薬品の拡大を図ります。また、農薬の次期主力商品の育成や、コンパニオンアニマル(ペット)用薬分野の強化によって事業拡大を図ります。なお、「TAKE OFF 14」期間中に、二度の薬価改定が予定されていることから、売上成長と、最適な生産体制の構築によってローコストオペレーションを実現し、その影響額の吸収を目指します。

また、従業員のパワーが最大限発揮されるような環境づくりと人材の育成・強化にも努めます。

Q3

「TAKE OFF 14」における戦略的投資についての考え方やこれを支える財務戦略についてお聞かせください。

A3

成長が見込める分野や伸ばすべき分野には積極的に投資を行う一方、財務健全性は維持する方針です。



「TAKE OFF 14」での投資を、「2020ビジョン」の実現への成長ドライバーとすべく戦略的に実施していきます。

食品セグメントでは、成長が見込めるヨーグルトや流動食などの新工場やライン増設に投資を行い、生産能力を強化します。新工場は次期中期経営計画での収益に貢献することとなりますが、早い段階からしっかりと果実を得ていく考えです。また、将来にわたるグループの成長を考え、海外事業への投資も増やします。

医薬品セグメントでは、研究開発投資および既存設備の維持・更新に対する投資が主たる対象となります。前述のとおり、二度の薬価改定に備えローコストオペレーションに取り組む一方、必要な投資は戦略的に実施します。

投資の原資は、原則として自己資金と負債調達で対応する考えであり、D/Eレシオ0.8を目安として、財務健全性を維持していきます。

Q4

株主のみなさまへのメッセージをお願いします。

A4

「食と健康」に関わる企業グループとして、その責任の重さを自覚しながら健全に発展していくことで、株主のみなさまのご期待に応えてまいります。

私たちが社会への責務を継続的に果たしていく上で重要なことは、当社グループの事業そのものが社会にとって必要なものであり続けることです。

乳製品、菓子、健康栄養、医薬品のすべての事業を通じて、当社グループならではの「おいしさ・楽しさ・健康・安心」を、あらゆる世代のみなさまにお届けし、日々の生活充実に貢献するとともに、「食と健康」のプロフェッショナルとして、一歩先を行く価値を創り続け、人びとの心豊かな暮らしに貢献することが私たちの使命です。

さらに、社会における責務を果たしながら、企業として健全に発展していくことも重要です。当社グループは、持てるパワーを存分に引き出し、強いものはより強くし、国内・海外を含めグループとしてトータルで強力に経営を推し進め、企業価値を高めることで、株主のみなさまのご期待に応えたいと考えています。

## TOPICS 1

## 「株主優待品寄贈選択制度」のご案内および実施のご報告

### ご寄贈結果のご報告

当社では、株主さまのご意志により優待品の送付に代えて同等品を福祉団体等へ寄贈する「株主優待品寄贈選択制度」を設けております。この制度にご賛同いただきました、株主さまのお気持ちと優待品を当社の気持ちとあわせて福祉団体等へ寄贈させていただいております。

今年度は、東日本大震災の被災地の方々および広域避難をされているの方々、また全国の障がいのある児童の支援団体への寄贈を、認定特定非営利活動法人日本NPOセンターを通じて実施いたしました。

### 今年度実績

寄贈にご賛同いただきました株主さま：**2,963名**  
株主さまから寄贈いただきました相当金額：**834万5,500円**

※当社からもほぼ同額相当分を寄贈し、合計1,670万円相当分の当社グループ製品の寄贈をしております。

### 寄贈先訪問レポート

被災地で活動している団体、広域避難をしている団体、障がい者支援団体を訪問してまいりました。どちらの団体も困難な状況にあるにもかかわらず、様々な工夫をされながら、支援活動に力を注いでいらっしゃいました。詳しくは当社ホームページにてご報告いたします。



山形避難者母の会(山形県 山形市)  
福島から移ってきていてちょっと寂しいけど、大好きなお菓子に囲まれて幸せです。



上中島児童館(岩手県 釜石市)  
みんなで力を合わせて勉強も遊びも、元気いっぱい頑張っています。



NPOりとする福島避難者  
支援ネットワーク  
(山形県 米沢市)  
福島で働くお父さんには週末しか会えないけど、みんなと一緒に楽しく過ごしています。



おもちゃの図書館ぼんだ  
阿波市子育てサロンぼんだ  
(徳島県 阿波市)  
今日は運動会。たくさん体を動かして頑張ったので、ごほうびにお菓子をもらいました。

東日本大震災で被災されたみなさま、関係者のみなさまには、心よりお見舞い申し上げます。またご賛同いただきました株主のみなさまのお気持ちに、心より感謝申し上げます。

## TOPICS 2

# 「明治アーモンド」発売50周年！ アーモンドショー♪



明治「アーモンドチョコ」が今年で発売50周年を迎えました。9月からは、50周年を記念して、バラエティ豊かな商品展開やプロモーション活動をします。小さい頃から食べ慣れた味への安心感と、幸せな思い出がギュッと詰まっている「アーモンドチョコ」。時代を超えて愛され続けるブランドとして、ますますその価値を高め、みなさんの毎日のシーンに「癒しと元気」をお届けします。

### 1962年に発売し、今や明治の定番に

「アーモンドチョコ」は、日本が高度成長期に入った1962年7月7日、大人を意識した本格的なナッツチョコレートとして誕生しました。それまでがないボール形の形状は、世間に驚きを与えました。また、スライドして開ける「スリーブ箱」のパッケージ、大きなアーモンド粒を丸ごとチョコレートで包み込んだボリューム感、まろやかなミルクチョコレートと香ばしいアーモンドが絡み合う絶妙なおいしさは、今までにない斬新な設計のチョコレートでした。鉄道弘済会(キヨスク)に置かれるなど、知名度は徐々に高まってきました。

その後、テレビCMの影響で、大人だけでなく中高生や子どもにも人気が広がり、「アーモンドチョコ」は売上を伸ばしました。子どもたちのおやつとしてはもちろん、大人世代の方にも、いろいろなシーンで多様に楽しまれ、商品の力に見合う人気を集めるようになったのです。

そして、ついにナッツチョコの売上No.1\*を獲得し、このたび発売50周年という大きな節目を迎えることができたのです。

パッケージ  
の変遷



1962年発売当初



1971年



1977年



1980年 デザインはほぼ現在のものに定着

\*インテージSRI全国全業態ナッツチョコ市場2010年1月～2011年12月販売金額

## TOPICS 3



### ～搾りたての生乳のおいしさを追求し、10年連続牛乳売上No.1!!\*～ 明治おいしい牛乳発売 10周年

開発スタートから13年。2002年に「明治おいしい牛乳」は全国発売を開始しました。「おいしさ」という付加価値がお客さまに認められ、発売直後に全国No.1ブランドとなりました。おかげさまで、今年で10周年。これからも、みなさまに愛され続けるブランドとして、安心・安全な製品をお届けしてまいります。



### 明治おいしい牛乳のナチュラルテイスト製法

一般に市販されている牛乳は、衛生的に飲んでいただくため、加熱殺菌が義務付けられています。しかし加熱する過程で牛乳にもともと含まれている酸素が、牛乳中の成分を酸化させてしまい、牛乳本来の風味を劣化させてしまいます。牛乳嫌いな方が感じる「匂い」や「クセ」はこの加熱殺菌による「加熱臭」「こげ臭」なのです。

そこで考え出されたのがナチュラルテイスト製法です。加熱前に酸素の一部を取り除く工程を加えることで加熱時の酸化を防ぎ、生乳本来の風味が保たれるという製法です。この製法により、「生乳本来の自然でさわやかな香り、ほのかな甘み、まろやかなコクはそのままにすっきりしたあと味」を味わうことができるのです。

\*インテージSRI調べ、牛乳市場、2002年～11年各年1～12月年間販売金額

## 会社概要

商号	明治ホールディングス株式会社 (英文名: Meiji Holdings Co., Ltd.)
事業内容	菓子、牛乳、乳製品、薬品等の製造、販売等を行う 子会社等の経営管理およびそれに付帯または関連する事業
本社所在地	東京都中央区京橋二丁目4番16号
代表取締役社長	浅野 茂太郎
設立	2009年4月1日
資本金	300億円

## 役員紹介

代表取締役会長	佐藤 尚忠
代表取締役社長	浅野 茂太郎 兼 (株)明治 取締役 兼 Meiji Seika ファルマ(株) 取締役
取締役常務執行役員	金子 秀定
取締役常務執行役員	平原 高志
取締役執行役員	左座 理郎
取締役	松尾 正彦 兼 Meiji Seika ファルマ(株) 代表取締役社長
取締役	川村 和夫 兼 (株)明治 代表取締役社長
取締役(社外)	矢嶋 英敏
取締役(社外)	佐貴 葉子
監査役(常勤)	川島浩一郎
監査役(常勤)	森島知夏男
監査役(社外)	宮本 晶二
監査役(社外)	山口 健一

## グループ会社

グループ全体	97社	連結子会社	54社
国内	65社	非連結子会社	27社
海外	32社	関連会社	16社

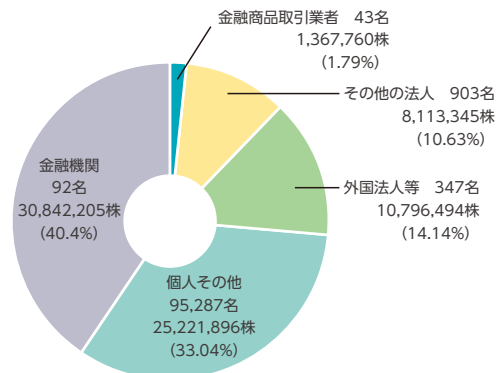
発行可能株式総数	280,000,000株
発行済株式の総数	76,341,700株
株主数	96,672名

大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社みずほ銀行	3,582	4.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,507	4.59
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,047	3.99
日本生命保険相互会社	2,367	3.10
明治ホールディングス従業員持株会	1,918	2.51
第一生命保険株式会社	1,578	2.07
株式会社りそな銀行	1,523	2.00
農林中央金庫	1,446	1.89
明治ホールディングス取引先持株会	1,352	1.77
東京海上日動火災保険株式会社	1,184	1.55

(注) 上記の他に、当社が2,677千株(持株比率3.51%)保有しております。

## 所有者別



事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 ※別途定める場合は、予め公告します。
定時株主総会	6月下旬
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.meiji.com/">http://www.meiji.com/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。 なお、会社法第440条第4項の規定により、決算公告は行いません。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社(口座管理機関)となっておりますので、上記の連絡先にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社(全国各支店)にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本支店でお支払いいたします。

## 株主さまへのご優待

### 1. 対象となる株主さま

毎年3月31日現在の明治ホールディングス株式100株以上ご所有の株主さま

### 2. ご優待の内容

ご所有株式数に応じて、以下のご優待品を毎年10月末頃にお届けいたします。

ご所有株式数	優待品	
100株以上	明治グループ製品詰合せ	2,000円相当
300株以上	明治グループ製品詰合せ	3,500円相当
500株以上	明治グループ製品詰合せ	5,000円相当

※株主さまのご意志により、優待品のご送付に代えて同等品を福祉団体等へご寄贈いただくことも選取できる株主優待品寄贈選択制度も設けております。



3,500円相当の優待品の例です。

## ホームページのご紹介 <http://www.meiji.com/>

明治ホールディングス株式会社のホームページでは、企業情報をはじめ、研究開発、CSRの取り組みやグループ各社の商品情報などさまざまな情報を掲載しております。

## ブランドマークについて

### 【書体】

ふくよかで柔らかな書体、親しみのある小文字を使用することによって、「食と健康」の企業グループらしい明るさと、お客さま一人ひとりのあたたかいつながりを表現しました。「iji」の造形には、人びとが寄り添い支えあう姿を託しています。

### 【色】

ブランドカラーはレッド。躍動感や生命のよるこびを感じさせる色であり、人が生まれて最初に知る色でもあります。赤ちゃんからお年寄りまで、あらゆる世代の人びとのそばにあって、愛され続ける存在でありたいという思いを込めました。

明日をもっとおいしく

meiji



UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



PROJECT-  
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCO<sub>2</sub>は  
PROJECT- With the Earth を  
通じてオフセット(相殺)しています。